

第 39 号

<http://www.nisshiren.com/>

あ〜す・れっく

＝ 日資連界報 ＝

日本再生資源事業協同組合連合会
〒101-0061 千代田区三崎町 2-21-1
TEL 03 (3263) 9101
発行人 紺野武郎
編集人 星本昭次
印刷 株式会社資源新報社

第五十五回東北資連福島大会開催
新会長に松坂直志

東北業界の連帯と団結を確認

日資連に団体加盟して
いる東北資連（東北六
県再生資源組合連合会）の
第五十五回東北大会福島
大会が九月十八日（月）、十
九日（火）の両日、福島市穴
原温泉、ホテル「吉川屋」
で開催された。組合員の
他商社、鉄鋼メーカー、機
械メーカーなどの来賓を
招き二〇〇余名が参加し
て盛大な集まりとなった。
開会に先立ち、連合会
旗の入場があった。旗手
は大会所管県である福島
県の佐川一重青年部長。
前衛と後衛は同じく青年
部の山口巧記と柴田浩
二郎君がつとめた。
大会実行委員長の福島
県再生資源商工組合副理
市長の和田勝弥氏による
開会宣言のあと、物故者
への黙祷が行われ、昨年
の大会以降になくなられた
高橋隆助連合会長から
「五十五年の節目に大会
がここ福島の地で盛大に
行われることに感謝した
い。東北資連および東北
地区の業界は組合員会員
の減少や行政からの助成
金減額など困難な問題を
かかえているが、国・筋
からの旺盛な購買意欲に
支えられて幸いにも市況
は安定している。こうい
う時にこそ次の手を打っ
ておかねばならない
が、研修委員会の諸君が
立派にその役割を果たし
てくれている。東北資連は
毎年、会長がかわるとい
うことで問題がないわけ

ではないが、各県持ち回りというところでまづ、なるべく業務を負担できるという利点もある。ご参加いただいた招待者及びご来賓の皆様には、本当に感謝しております。」との挨拶があった。

来賓のからは福島県知事佐藤栄佐久氏（代理）、福島市小企業団孝則氏、福島県中小企業団体中央会、島根新生澤島英氏及び日資連会長紺野武郎氏らから

大入さうごん

- 1、製造者・市民・行政・東北資連が一体とて、作ろう。
- 1、再生資源の国際化に果敢に挑戦し、新しい企業を見つけ、磐石の経営基盤を作り上げよう。
- 1、企業の社会的責任を自覚し、我々の住ん、かけがえのない地域社会をつくることによつて、

「ご祝辞をいただいた。福島市長瀬戸孝則氏の「本人です」から始まる。軽妙洒落な地元PRには、大きな拍手が送られた。日資連再生資源回収事業者認定制度及びリサイクル化証明書に係る全国組織化、原局認可に関する日資連会長紺野武郎氏の挨拶も注目を集めた（別掲）。

その他、ご来賓の方々は次の通り。

(社) 日本鉄リサイクル工業会会長中辻恒文氏(代役)、同東北支部長高橋文氏、日資連顧問太田原秀義氏、日本自動車リサイクル協会小野順一氏、東北製紙原料直納協同組合理事長佐藤清隆氏、東北バィ商連合会会長松平善雄氏、福島県再生資源協同組合連合会会長菅澤英隆氏。

業界功労者表彰及び受賞者代表謝辞に続いて、長く東北資連及び日資連の活動に貢献された高橋文吉氏に対して日資連特別表彰が行われた。続いて総会に入った。

議案はすべて承認され、次期会長に宮城県再生資源工組合理事長の松坂直志氏を選任。また、次期第五十六回東北大会を宮城県再生資源工組合の所管で開催することを決定した。今回選任された執行部は次の通り。

▽理事長・松坂直志(宮城県) 高橋文(小野一手) 宮城県
▽副理事長・庄子専一(宮城県) 高橋文(小野一手) 本間義和(小野一手) 本間義盛(秋田県) 高橋隆助(福島県) 理事・大日方輝育(宮城県) 会計担当 佐藤乃理子(若手県) 土屋芳美(小野一手) 齋藤久一(秋田県) 田勝勝(福島県)

総会終了後、今回のイベントの「目玉」である研修委員会報告がビデオ

視察、四月の集中セミナー及び中国視察、六月のベトナム（北部ハノイ周辺）視察などを画像によって説明するいう手法はこの数年間継続されてきたが、臨場感があった好評だった。研修委員長の紺野正博君（福島県）以下一〇名の研修委員によるすばらしい事業だったといえよう。

同委員会では過去三年間の海外視察のすべてをDVD三本にまとめた。これを三本一セット二万円でお分けするという発表もなされた。（注）購入希望者は東北資連事務局（ファックス022-213-8985）まで。

による「我が国の社会状況と我々の使命」と題する記念講演が素晴しく行われた。午後六時から恒例の懇親会が始まり、地元飯坂の「飯坂太鼓」が勇壮に鳴り響く中、会員間の交流が楽しく有意義に行われた。

組合員が減少し、東北六県総勢四〇六名という厳しい状況の中で行われた五十五回という節目の大会であったが、業界環境の好転という事情もあり、先々を見据えたような意義な大会となった。（注）大会終了後に新執行部による最初の理事会が行われ、新年度の詳細な事業計画の策定が行われ、

源業界における付加価値の創造」と決まった。少子高齢化という深刻な事態の中で我々の取扱商品品の態色が縮小することが予想される。そうした事態に有効に対処するためには、どうすればよいのかという一処方箋）をここの数年間で作り上げる作業になるようだ。

また、業界トップの世交代が急ピッチで進行しているという事情もあり、「経営者セミナー」の企画も検討されている。（注）今大会で採択された大会スローガン及び大会決議文は別掲の通り。大会運営にあたった所産管福島県再生資源商工組

放映によって行われた。「再生資源業、国際化への挑戦」チャイナ・プラス・ワン・インド」というテーマでこの一年間に行った事業を画像によって発表した。二月のイン

山神社宮司・足立正之氏 会諮問テーマは「再生資 でした。

続いて東北総裁・靈 れた。新年度の研修委員 合のみなさん、ご苦勞様

第五十五回東北資連福島大会決議

二十一世紀を迎え、私たちは地球温暖化、オゾン層の破壊、資源の枯渇など地球規模の環境問題に直面しています。

こうした問題を解決するために関係者各位がそれぞれの立場から活動を行い、

祝 辞
日資連紺野会長が挨拶
東北^資連と日資連の連帯を強調

東北資連第十五回福島大会の成功おめでとうございます。こんなにたくさんの方々にお集まりいただいたということ、とりも直さず、東北資連が持っている得難い求心力の賜物ではないかと感謝した次第です。

私が所属している東資協（東京都資源回収事業協同組合）も日資連も東北資連とは同様の歴史を持っております。日資連は何回か組織の改変を

行っていますが、戦後、設立されてからの歴史を数えてみますと、やはり五十数年の歴史を持っています。そういう組織があつて、これから本格的に日資連の全国組織化に取り組むわけですが、やはり長年培った組織としての経験、懐の深さというのは大変な財産であるかと思ひます。

日資連の原局認可、全国組織化に取り組む上で、我々の持っている長年に

わたる蓄積は得難い財産であるということもできようかと思ひます。

東北資連は組織の成り立ちの上で「商工組合」という形式をとっていますが、日資連における強力な所属団体であることに変わりはありません。

日資連再生資源回収事業者認定制度の導入にあたり、積極的に取り組んでいただきます。

東北資連の認定業者は254社であります。全認

くてはなりません。この場をお借りいたしまして、そのことを強く望み、お願ひする次第であります。日資連の原局認可の行程については様々な意味で追い風が吹きつづあります。悲願達成に向けて、東北資連と歩調をあわせて大いに頑張りたいと思ひます。

貴連合会の今後の更なる発展と先進的な事業活動を祈念し挨拶とさせていただきます。

我々はうしろ髪髷の好転を我々だけのものとはせず、地域社会の方々とともにこのように生かすことができるのか、そのことが循環型社会構築にどのように寄与しているかができるのか、真剣に考え、行動していきたいと思ひます。我々の業界はもはや我々だけのものではなく、地域社会と密接に結び付いたものであることを我々が自覚しなければなりません。

一昨年来、我々は「リバイブ・ア・ニュー・エコノミー」というテーマに取り組んできましたが、これからには企業の社会的責任（CSR＝Corporate Social Responsibility）という崇高な課題に取り組んでいきたいと考えます。

具体的にはどのようなことをすればよいのか、業界界が社会に受け入れられるためにはどのような行動が必要なのか、様々な事例に学びながら、取り組んでいきたいと思ひます。

そのことを全員で確認し、第五十五回東北資連福島大会の決議といたします。

平成十八年九月十八日

東北六県用土資源総合連合会第五十五回福島大会

リサイクルの実際の作業にたずさわる我々再生資源業者もまた関係者各位とを占めております。そうしたことで、今後とも日資産の強力な構成員として力添えをい、ご協力

もにこの運動に深くかかわってきました。

長年にわたる資源の循環を担ってきた我々再生資源業者にとって主力商品である鉄スクラップ、古紙、非鉄などの市況が比較的安定的に推移してきたこと

努力することは循環型社会の構築を国民的なコンセンサス（台意）とする私たちに、とてきわめて大切なことであると理解しております。

こうした問題を解決するために関係者各位がそれぞれの立場から活動を行い、

うテーマでこの一年間に
行った事業を画像として
求見裏の要請問題（頁五）にて、ます。

二十一世紀を迎え、私たちは地球温暖化、オゾン層の破壊、資源の枯渇など地

第五十五回東北資連福島大会決議

「再生資源業、国際化へ
山神社宮司・足立正之氏
会諮問テーマは「再生資
でした。」

放映によって行われた。新年度の研修委員
合のみなさん、ご苦

局（ファックス022—
ペントの「目玉」である
が行われ、新年度の詳細
大会運営にあたった

和田勝弥(福島県)
総会終了後、今回のイ
入希望者は東北資
事務所
行部による最初の
会決議文は引揚の通
た大会スローガン及
び

形鼎 斎藤久一（秋田県）
円でお分けするという発
義な大会となったようだ。
（注）今大会で採択さ

会計担当) 佐藤乃理子
DVD三本にまとめた。
これを三本一セット二万
境の好転という事情もあり、「経営者セミナー」の企画も検討されている。先々を見据えた有意

事・大旦方輝育(宮城県・高松陸奥(福島県)の理
同委員会で、過去三年
か十五回といふ節目の
竹久文急と、チヂメ
しているという事情

形彫）小野寺盛（秋田県）
 だったといえよう。
 厳しい状況の中で行われ
 た五十五回という節目の
 また、業界トップの
 代表が急ピッチで集

専一（宮城野）高橋文一
員によるすばらしい事業
六県総勢四〇六名という
作業になるようだ。

城島 町副理事長・庄子
 市長の紺野正博君(福島
 に行われた。
 かという「処方箋」を

▽理事長・松坂直志（宮）
てきたが、臨場感があつて大好評だった。研修委員間の交流が楽しく有意義には、どうすればよいのか、勇壮に喚び響く中、会員態に有効に対処する必要がある。

決定した。今回選任され
法はここ数年間継続され
元飯坂の「飯坂太鼓」が
予想される。そうした

の所管で開催することを
宮城県再生資源商工組合
によって説明するという手
例の懇親会が始まり、地
の発生が縮小すること
態の中で我々の取扱

のベトナム（北部ハノイ）の記念講演が爾々々々行わり、高齡化という深刻な

源商工組合理事長の松坂直志氏を襲王。また、次兄と我々の使命と題すの制畫一上決まった。

第五十五回東北資連福島大会決議

二十一世紀を迎え、私たちは地球温暖化、オゾン層の破壊、資源の枯渇など地球規模の環境問題に直面しています。

こうした問題を解決するために関係者各位がそれぞれの立場から活動を行い、

努力することは循環型社会の構築を国民的なコンセンサス（合意）とする私たちに与つてきわめて大切なことであると理解しておりまふ。

リサイクルの実際の作業にたずさる我々再生資源業者もまた関係者各位とともにこの運動に深くかかわつてきました。

長年にわたり資源の循環を担当してきた我々再び資源業者にとって主力商品である鉄スクラップ、古紙、非鉄などの市況が比較的に安定的に推移してきたことはまことに心強いところであります。

我々はこうした業界環境の好転を我々だけのものとはせず、地域社会の方々に

ともにもうに生かすことが出来るのか、そのことが循環型社会の構築にどのように寄与していくことが出来るのか、真剣に考え、行動していきたいと思えます。我々の業界はもはや我々だけのものではなく、地域社会と密接に結び付いたものであることを我々は自覚しなければなりません。

一昨年来、我々はコンプライアンス（法令遵守）というテーマに取り組んできましたが、これからはさらに企業の社会的責任（*the CSR = Corporate Social Responsibility*）という崇高な課題に取り組んでいきたいと考えています。具体的にどのようなことをすべきなのか、業界が社会に対して果たすべき役割を具体的にどのように定義し、それをどう実践していくのかを、我々もまた模索しています。

にはどのような行動が必要なのか、様々な事例に学びながら、取り組んでいきたいと思っています。

そのことを全員で確認し、第五十五回東北資源連福島の決議といたします。

平成十八年九月十八日
東北六県再生資源組合連合会第十五回福島大会

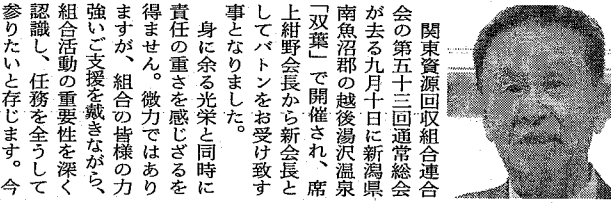
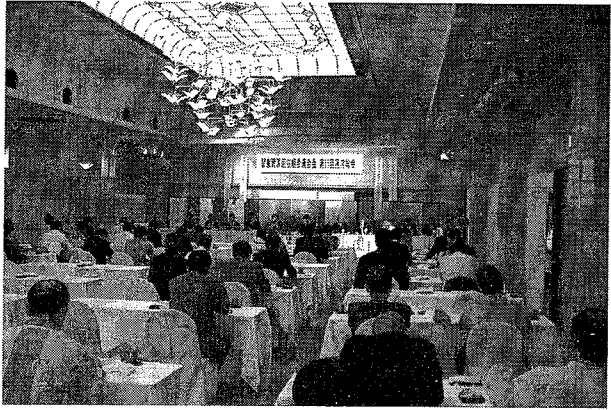
関資連第53回通常総会報告

細田新会長(埼玉)を選出
認定の普及と組織強化柱に

関東資源回収組合連合会(紺野武郎会長)は九月十日(日)、越後湯沢温泉「双葉」を会場に第五十三回の通常総会を開催した。

平成十七年度事業・決算報告を行うとともに、十八年度の事業計画案、予算案等について審議した。

十八年度事業計画案では、前年に引き続き「日資連改革の要となる『日資連再生資源回収事業者認定制度』と『リサイクル化証明書』の普及推進に全力を傾注することとした。制度の拡充、達成が



一新会長挨拶
認識を高めて前進を

関資連会長 細田 益弘

後とも何卒宜しくご鞭撻をお願い申し上げます。
関資連は日資連の中核として活動する重要な存在であり、しっかりした組織を持って、充実した運営を継続して参りました。これは今日迄の多くの先輩の並たならぬご尽力により築かれたものと心より敬意を申し上げます。地球を取り巻く環境は益々悪化しつつありますが、私達の業界はそれを阻止し、良化する大事な存在として注目されるようになって参りました。それ故にこそ社会的立場の向上と商榷擁護に力を入れ、情報収集・配信を拡充し、より広く結果し、より力強くなっているといえなければなりません。

支え、関係各界との連携を図るなど、循環型社会の形成に有効な提言、行動を行っていくことを基本方針として確認した。

勢を概観するとともに今後の組織運営に向けての意気込みを示した。以下、抜粋。
「今日の業界は鉄、非鉄など金属全般に好況に推移するなか、古紙価格のみ低価格から未だに脱却できていない。地方自治体の財政難から経済性のあるリサイクルが求め

- (敬称略)
- △会長 細田益弘(埼玉)
 - △副会長 関本文男(茨城)、大塚勝彦(千葉)、谷中勝典(栃木)、新井英一(東京)、上岡克己(群馬)、小松敏和(神奈川)
 - △会計 曾根崎(神奈川)
 - △監事 片桐伸也(群馬)、土井信男(東京)、蛇原勝博(千葉)
 - △業務委員長 佐藤 郎(東京)
 - △調査研究委員長 森本晃(群馬)
 - △広報委員長 星本昭次(栃木)
 - △共済委員長 高岡和敏(東京)
 - △青年部長 坂本龍介(群馬)

関資連は関東組と連携してリサイクル品の買取問題をはじめ多様化された諸問題を取り上げる意見交換の場として「古紙流通環境情報交換会」を立上げ、そこでは名実ともに充実した会報「PRUN」を発刊しており、さらに、より広い情報提供と業界の認識度を高めるべく、循環型社会経済の構築に努め、ゆがみを是正して不安のない完全な立場の確保に立ち向かう必要を感じます。現代社会の急速な進歩と流れの中では、いつ、どのようなことが起きても不思議ではありません。常に敏感に対応できる体制と心構えが必要ですが、それには未来と希望に満ちた力強い青年部があり、それは燃焼と輝く光明であります。皆様の一層のご発展を祈念申し上げてご挨拶と致します。

平成18年10月15日調査

日資連 モニター集計表

基準は問屋持込販売価(円/Kg)

No	県名	H 2 (特級)	発生	鉄千地 (二級)	発生	スチール缶 プレス	発生	スチール缶 バラ	発生	アルミ缶 プレス	発生	アルミ缶 バラ	発生	光特号 (銅)	発生	新聞	発生	雑誌	発生	段ボール	発生	込ボロ	発生
1	北海道	高値 16.5 安値 12.5	減	高値 8.5 安値 4.5	減	高値 15.0 安値 11.0	減	高値 7.5 安値 3.5	減	高値 105.0 安値 85.0	減	高値 50.0 安値 140.0	減	高値 410.0 安値 835.0	減	高値 5.5 安値 8.0	減	高値 2.0 安値 5.0	減	高値 3.0 安値 7.0	減	高値 0.0 安値 0.0	減
2	栃木	高値 24.5 安値 23.5	減	高値 15.0 安値 14.0	減	高値 22.0 安値 21.0	減	高値 12.5 安値 12.5	減	高値 170.0 安値 150.0	減	高値 140.0 安値 120.0	減	高値 835.0 安値 700.0	減	高値 8.0 安値 5.0	減	高値 5.0 安値 3.0	減	高値 6.0 安値 5.0	減	高値 0.0 安値 0.0	減
3	埼玉	高値 25.0 安値 22.0	減	高値 17.0 安値 14.0	減	高値 19.0 安値 18.0	減	高値 3.0 安値 3.0	減	高値 100.0 安値 80.0	減	高値 55.0 安値 45.0	減	高値 500.0 安値 430.0	減	高値 8.5 安値 5.0	減	高値 5.0 安値 3.0	減	高値 7.5 安値 4.0	減	高値 0.0 安値 0.0	減
4	東京	高値 13.0 安値 12.0	減	高値 11.0 安値 7.0	減	高値 19.0 安値 15.0	減	高値 9.0 安値 7.0	減	高値 170.0 安値 150.0	減	高値 130.0 安値 100.0	減	高値 840.0 安値 780.0	減	高値 7.0 安値 6.0	減	高値 5.0 安値 4.0	減	高値 6.5 安値 6.0	減	高値 0.5 安値 0.0	減
5	神奈川	高値 24.0 安値 22.0	減	高値 11.0 安値 7.0	減	高値 19.0 安値 15.0	減	高値 9.0 安値 7.0	減	高値 170.0 安値 150.0	減	高値 130.0 安値 100.0	減	高値 840.0 安値 780.0	減	高値 7.0 安値 6.0	減	高値 5.0 安値 4.0	減	高値 6.5 安値 6.0	減	高値 0.5 安値 0.0	減
6	新潟	高値 18.0 安値 16.0	減	高値 15.0 安値 13.0	減	高値 16.0 安値 13.0	減	高値 5.0 安値 3.0	減	高値 140.0 安値 130.0	減	高値 70.0 安値 50.0	減	高値 700.0 安値 650.0	減	高値 7.0 安値 6.0	減	高値 3.0 安値 2.0	減	高値 6.0 安値 5.0	減	高値 0.0 安値 0.0	減
7	富山	高値 18.5 安値 18.5	減	高値 13.0 安値 13.0	減	高値 14.0 安値 14.0	減	高値 8.0 安値 8.0	減	高値 120.0 安値 120.0	減	高値 50.0 安値 50.0	減	高値 750.0 安値 750.0	減	高値 5.0 安値 5.0	減	高値 2.0 安値 2.0	減	高値 5.0 安値 5.0	減	高値 0.0 安値 0.0	減
8	岐阜	高値 21.0 安値 20.0	減	高値 12.0 安値 10.0	減	高値 12.0 安値 10.0	減	高値 7.0 安値 5.0	減	高値 155.0 安値 140.0	減	高値 105.0 安値 90.0	減	高値 790.0 安値 760.0	減	高値 6.0 安値 5.0	減	高値 4.0 安値 3.0	減	高値 7.0 安値 6.0	減	高値 2.0 安値 0.0	減
9	静岡	高値 20.0 安値 20.0	減	高値 10.0 安値 0.0	減	高値 12.0 安値 7.0	減	高値 8.0 安値 5.0	減	高値 155.0 安値 130.0	減	高値 140.0 安値 90.0	減	高値 550.0 安値 400.0	減	高値 6.0 安値 5.0	減	高値 3.0 安値 2.0	減	高値 5.0 安値 4.0	減	高値 1.0 安値 0.0	減
10	奈良	高値 22.0 安値 19.0	減	高値 14.0 安値 11.0	減	高値 10.0 安値 7.0	減	高値 5.0 安値 2.0	減	高値 130.0 安値 120.0	減	高値 110.0 安値 100.0	減	高値 750.0 安値 600.0	減	高値 11.0 安値 10.0	減	高値 4.0 安値 0.0	減	高値 4.0 安値 4.0	減	高値 0.0 安値 0.0	減
11	和歌山	高値 20.0 安値 18.0	減	高値 16.0 安値 14.0	減	高値 16.0 安値 14.0	減	高値 3.8 安値 3.8	減	高値 80.0 安値 80.0	減	高値 55.0 安値 55.0	減	高値 220.0 安値 220.0	減	高値 4.0 安値 4.0	減	高値 0.0 安値 0.0	減	高値 4.0 安値 4.0	減	高値 0.0 安値 0.0	減
12	鳥取	高値 20.0 安値 18.0	減	高値 16.0 安値 14.0	減	高値 16.0 安値 14.0	減	高値 3.8 安値 3.8	減	高値 80.0 安値 80.0	減	高値 55.0 安値 55.0	減	高値 220.0 安値 220.0	減	高値 4.0 安値 4.0	減	高値 0.0 安値 0.0	減	高値 4.0 安値 4.0	減	高値 0.0 安値 0.0	減
13	岡山	高値 20.5 安値 19.5	減	高値 0.5 安値 4.0	減	高値 23.7 安値 22.9	減	高値 4.0 安値 4.0	減	高値 155.0 安値 145.0	減	高値 130.0 安値 110.0	減	高値 760.0 安値 740.0	減	高値 8.0 安値 6.0	減	高値 5.0 安値 3.0	減	高値 5.0 安値 3.0	減	高値 5.0 安値 5.0	減
14	熊本	高値 20.5 安値 19.5	減	高値 0.5 安値 4.0	減	高値 23.7 安値 22.9	減	高値 4.0 安値 4.0	減	高値 155.0 安値 145.0	減	高値 130.0 安値 110.0	減	高値 760.0 安値 740.0	減	高値 8.0 安値 6.0	減	高値 5.0 安値 3.0	減	高値 5.0 安値 3.0	減	高値 5.0 安値 5.0	減
平均値		20.8 18.7		11.4 9.2		16.6 13.6		6.9 5.3		139.0 121.7		100.4 82.1		647.7 642.9		6.6 5.6		3.7 2.9		6.0 4.8		0.3 ▲1.7	

Pマーク

「情報管理」への取り組み
東資協有志で認証取得の試み

時代の流れとともに回収業界も、顧客からの環境・情報管理を重視するといった多様化・複合化してきている要望に応じた、適切な対応が求められるようになりまし。

その中で、東資協有志で「Pマーク」認証取得に取り組むことになりました。

この制度は、(財)日本情報処理開発協会が、日本工業規格「個人情報保護に関するコンプライアンス・プログラムの要求事項JISQ15001」に適合する個人情報その他にコンサルタント

制を整備している事業者に対し、認定及びその旨を示す表示であるPマークを付与するものです。従来の品質・コスト・安全等に環境・情報管理といった側面も加えた多角的な状況に対する「企業倫理の確立と順守」を重視した経営への取り組みを求められます。

十一月十一日(土)に日資連青年部部長会が関西で開かれました。通常は毎月第三土曜日に各県部長による青年部部長会を東京の日資連事務所で開催していますが、今回は会場を関西に移し、西日本地区の青年部員との交流をかねて開催した

しました。今柳日資連青年部副部長(奈良県)の経営で大阪は難波の「馬よし本店」に奈良、大阪、岐阜、千葉、群馬、神奈川、東京の各県青年部、オブザーバーとして福井の石山青年部会長も駆けつけていただき、三十名ちかくの

部員が集まりました。十六時より地元青年部員を交えての部長会が始まり、各県の青年部活動報告が行われました。その中で、共通の問題点として挙げられたのが青年部活動の方向性と新規部員の獲得の難しさでした。

各県色々と工夫をしているようでしたが、なかなか苦慮しているところもあると感じられました。続いて「組合員のISO14001認証取得を目指した取り組み」と題して、奈良協で取り組んでいるISO取得の取り組み

が、各県青年部の抱えている問題点の答えのように思えました。今回、参加した青年部員の皆さんも、とても熱い気持ちを持ったメンバーが集まり、その後の懇親会もあちらこちらで充実した話がで、有意義な時間がすごせた部長会となりました。

今後も、青年部組織強化、日資連の全国組織化を約束し部会はお開きとなりましたが、各県入り混じった状態で二次会、三次会と夜の大坂に消えていった青年部員を見て、是非またこの仲間と集みたいと思ったのは私だけでしょうか。

寄稿
日資連ダートの確立を
回収コスト適正化に向けて

国で一円の高値が上がりつつあるが、これが価格上昇の終止符となるとはとも思われなない情勢だ。

鉄や鉄金属の現状から比べると決して高騰とは言えないが、中国等への輸出価格が国内価格をさらに高目に導きそう

な気配だ。昔もふた昔も以前なら古紙価格の上昇は我々回収業者には福音以外の何者でも無かった。しかし現況はどうだろう。非常に微妙な価格帯に突入してきたと言えよう。

坪上も集団回収も、上物古紙も裾の古紙も、回収効率によって有償、無償、逆有償が入り混じる価格帯だ。特に小規模の集団回収では、せいぜいで無償。本来はなんがしかの行政からの助成、もしくは実施団体からの

逆有償がまだ必要な価格帯であろう。このような状態の中で全国一様な基準、日資連スタンダードを作成したいが地域格差が大きすぎよう。

そこで提案があります。各市区町村の基準、スタンダードを作成してください。そしてその集計を日資連でまとめることにより、現実的な日資連スタンダードを作成しましょう。情報の取りまとめは広報委員会が、分析は業務委員会が行うこととなるでしょう。

排出者は回収業者が今まで、儲からないのに我慢して頑張ってきたことを理解してくれませんか。したがって、古紙あるいは金属屑の価格が上った分は、資源の引取り条件にストレートに反映さ

せて当然と考えているでしょう。そのような場合に排出者に理解を求めるための交渉手段として、日資連スタンダードが必要であり、そのために各地の情報が不可欠なのです。

春木住人

リサイクル化証明書の誤印刷について
——お詫びと訂正——

日資連リサイクル化証明書の一部に印刷ミスがございました。ご利用者の皆様に深くお詫び申し上げますとともに、下記の通り正しく読み替えてお使い下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 該当証明書

表紙番号: 0,001~ 2,500
伝票番号: 00,001~62,500

2. 該当箇所

K票(日資連送付分)の左上「排出事業者欄」
(誤) 搬出事業者 → (正) 排出事業者

以上

平成18年9月4日

日資連認定制度審査委員会事務局

ISO
関連で熱心な討論
日資連青年部部長会を開催

十一月十一日(土)に日資連青年部部長会が関西で開かれました。通常は毎月第三土曜日に各県部長による青年部部長会を東京の日資連事務所で開催していますが、今回は会場を関西に移し、西日本地区の青年部員との交流をかねて開催した

しました。今柳日資連青年部副部長(奈良県)の経営で大阪は難波の「馬よし本店」に奈良、大阪、岐阜、千葉、群馬、神奈川、東京の各県青年部、オブザーバーとして福井の石山青年部会長も駆けつけていただき、三十名ちかくの

部員が集まりました。十六時より地元青年部員を交えての部長会が始まり、各県の青年部活動報告が行われました。その中で、共通の問題点として挙げられたのが青年部活動の方向性と新規部員の獲得の難しさでした。

各県色々と工夫をしているようでしたが、なかなか苦慮しているところもあると感じられました。続いて「組合員のISO14001認証取得を目指した取り組み」と題して、奈良協で取り組んでいるISO取得の取り組み

が、各県青年部の抱えている問題点の答えのように思えました。今回、参加した青年部員の皆さんも、とても熱い気持ちを持ったメンバーが集まり、その後の懇親会もあちらこちらで充実した話がで、有意義な時間がすごせた部長会となりました。

今後も、青年部組織強化、日資連の全国組織化を約束し部会はお開きとなりましたが、各県入り混じった状態で二次会、三次会と夜の大坂に消えていった青年部員を見て、是非またこの仲間と集みたいと思ったのは私だけでしょうか。

札幌市資源リサイクル事業協同組合(熊谷信一)の加入

九月十六日の日資連理事会で札幌市資源リサイクル事業協同組合(理事長熊谷信一氏)の加入が承認された。同組合は五十余社の組合員を擁し、本部の所在地は以下の通り。

【編集後記】

会員の皆さん、本文中では掲載できませんでしたが、リサイクルシステム議員懇談会長の甘利先生が今回経済産業大臣に就任されました。編集後記の文中を借りてお慶び申し上げます。

さて、日資連の旧リサイクル化証明書は八月で使用期限を迎え、認定事

段ボールのリサイクルは
次世代の環境作り!!

循環型社会に最適な包装資材として今後とも
リサイクルの推進・向上に努めます。

段ボールリサイクル協議会

リサイクルシンボルの普及促進中!!

資料問い合わせは事務局へ
詳細については日本段ボール工業会のホームページ
(http://www.jcca.gr.jp)で閲覧できます

東京都中央区銀座3-9-11 紙パルプ会館

(日本段ボール工業会内)

TEL03-3248-4851 FAX03-5550-2101



ていただいた奈資協の青年部の皆さん、本当にありがとうございました。また、設置を行っ